



若葉の力 < 7月号 >

川崎市立大東西中学校
学校だより
令和5年度 第4号
令和5年7月10日発行

学校教育目標 『豊かな心を持ち、たくましい生徒 ～ 夢や希望をもつ生徒 ～ 』

○自ら考え、自ら学ぶ生徒 ○豊かな心を育む生徒 ○心身の健康に努める生徒

「向上」や「信頼」は、普段のよい生活の積み重ねから。

校長 小金井 幸則

1学期の登校日も残りわずかになってきました。少しずついろいろな活動ができるようになりましたが、その分、課題も見つかります。「課題」は「成長」に無くてはならない要素です。成果もたくさん見つかりました。生徒の良いところをたくさん見つけ、それを認め、認められた生徒たちは更に頑張ってくれる。好循環です。これからの大東西中生の活躍がとても楽しみです。こういう時こそ押さえておかなければいけない大切な事があります。生徒たちに以下の話をしました。

1学期を振り返る時期となりました。今学期も、皆さん、いろいろなことを頑張りましたね。例えば、今学期、何回も、地域の方から「大東西中の生徒さんは、本当によく挨拶をしてくれる。」というお話をいただきました。

また、昨日、大東西小の6年生から体育祭を見た感想のお手紙をいただきました。皆さんへの感動や憧れの言葉がたくさん綴られていました。

学校総合体育大会では、壮行会での応援の気持ちを胸に、どの部も全力で頑張っていました。最後の大会に臨む3年生の姿は、とても頼もしく、「憧れ」と「目標」として、1・2年生の目と心に焼き付いていることでしょう。県大会に出場する部は、これまでの気持ちを切らずに練習に取り組み試合に臨んでください。健闘を祈ります。

大会のことをもう少し話します。私がいろいろな部の応援に行っても感じることは、皆さんもそうですが、よいチームや勝ち上がっているチーム、よい選手たちは、挨拶や返事をしっかりとしている、集合した時の姿勢や話を聞く態度がとてもよい、試合の準備や移動などきばきと動いている、試合への待ち時間は落ち着いて過ごしているなど、共通していることが多いということです。

さらに、今、皆さんは、本来なら制服で生活するところを暑さ対策もあり体育着での生活も可能になっています。それは、皆さんなら体育着生活にしてもだらしなくならないだろうという、先生方の皆さんへの信頼があつてこそです。皆さんの普段の生活ぶりがよいからです。

この様に、試合に勝つ、受験がうまくいくなど、向上したりよい結果を残したり、人から信頼感を得たりするためには、そのことだけを頑張ればよいのではなく、普段のよい生活を積み重ねることも大切なのです。

普段のよい生活。相手に伝わる挨拶や返事をする。チャイム着席や時間を守る。黙々と掃除に取り組み、身の回りの整理整頓をする。人の話をしっかりと聞く。友達と協力し合い、お互いに思いやりをもって接する。いかがでしょうか。

しっかりと自分自身を振り返り、それらを土台として、より一層成長していきましょう。

(7月の学校朝会より)



昼休み 校庭で遊ぶ生徒たち



プール清掃